



## 地域のつながりで復活へ 水間名物 「観月堂 愛染しぐれ」



地域イベントの準備がきっかけに、地域の人と情報がつながり「復刻版 観月堂 愛染しぐれ」が、3月12日（日）「来ちょ～え！ 貝塚みずま 春フェスタ～お夏清十郎の恋～」で限定販売されます！

取材等よろしくお願ひします。

観月堂は水間寺前にあった和菓子屋で、銘菓「愛染しぐれ」を販売し、多くの参詣者に愛されていました。

しかし、約30年前に惜しまれながら廃業しました。

今でも、参拝客や地元から、「もっちり感のある独特な食感を忘れられない」との声があり、今回のイベントを記念し復刻版として販売します。

価格：1本550円(税込)

販売数：限定300本



## ●経緯

3月12日（日）開催の「来ちょ～え！貝塚みずま 春フェスタ」の準備で、水間寺の観音茶屋を訪れた貝塚みずま春フェスタ実行委員会の石居功副実行委員長と事務局の市職員に、店主の北さんから30年以上前に廃業した水間寺前にあった観月堂の「愛染しぐれ」と同じ味の和菓子を製造している店があるという話がありました。

観月堂で製造販売していた「愛染しぐれ」は、いまだに参拝客から売っていないのかとの問い合わせの声が多く、もちり感のある独特な食感を忘れられないという地元の声も多く復刻版の企画となりました。

観月堂の山本利雄さんの息子である山本利憲さんによると「父は生前、うちの愛染しぐれと同じ味を味わいたいなら田中清月堂の『もみじしぐれ』を食べたらいい、一緒に修業した者が製造方法を引き継いでいるから」と言っていたとのこと。また、廃業した観月堂の倉庫には、当時の箱や包装紙が残っていた。

早速、小北佳照委員長と実行委員会のメンバーは、田中清月堂へ赴き事情を説明したところご主人は快く「観月堂 愛染しぐれ」の復活に力を貸して下さることとなりました。

そして、皆で試食したところ水間生まれの水間育ちの小北委員長は、子供の頃のことを思い出すと感激！山本さんも子供の頃に親の仕事を手伝った思い出を話され、北さんは復刻版ができたらお客さんも喜ぶと思うと、復刻版への話に華を咲かせていました。